



【余談】この当時、酒卸から酒小売業になつて、ドイツワインのボトルに崩壊を予想して、ベルリンの壁写真を組み込んだラベルを貼つて売つた。壁倒壊と重なり、当時視聴率の高いTV番組で放映され、友人等と組んで貨車二両を大量に売つて、大儲けできた。が残念だが柳の下に泥鰌はなかつた！

ないなあ」と思ひながら……

経済制度は、政治が主導する。政治家は、選挙を経て「議員になり、国の全てを決める仕組」み、戦争は一度としてならないと思う。そんな時期。米大統領がトランプ氏になられた。そしてアメリカとメキシコの国境に「壁を創る」と言う。ベルリンの壁に大反対していたアメリカ

放され、自習が多かつた。

食料も生きて行くのがヤツトの配給制度だつた。そんな時代を生きた人間が、今はゴビニの事業をしており、賞味期限が切れる前に廃棄している。勿体ないなあ」と思ひながら。。

商売人の新聞とんからりん」で政治的な話に極力避けてきた。でも私の世代は、前の戦争で**モミクチ**やとされた。戦時は疎開で家族と切り離された。学校制度も、尋常く国民く小学の幼児時代。戦後に旧制中学に入學したが占領軍の命令で、六三制に代わった。戦争に関わつたかどうかの先生も追放され、自習が多かった。

万里の長城
ベルリン
メキシコ
壁
共通項は

サカタニ友の会ニユース

とんがりさん



発行者
 株式会社サカタニ
 第四條サカタニ
 ファミリーマート
 サカタニ京阪七条店
 〒605-0993 京・
 東山区七条こころ坂
 TEL・075-561-7974
 URL www.sosake.jp/
 E-Mail info@sosake.jp
 月刊 発行会員新聞
 編集酒谷義郎
 yosirou@
 sosake.jp

チヤと行つた。説明書を読み、立派たが本来の役には立た無かつたと知る。小便匂いもきつかつた。

バルリンの壁は、米英など反対を無視して連主導で出来たもの。ドイツも東西に分割統治の頃



が、その後のソ連の崩壊と共に消えた。

最近、アメリカ米大頭領におなりになったトランプ氏は、ポーカーや占いはお嫌いとお見えて、ネットでは

「瞬で情報飛び交う時代に。アメリカとタタキシゴの国境にクラシクな壁」をお造りになりましたらしい。が、壁役に立たないとは歴史が証明している。そんなところより、どこかのヨーロッパで流れた○○は、元からたまたま駄目」で、日本憲法の九条を、世界に広めて欲しいものだ。戦争は、なければならぬい。

されてしまう危ないものだ。
2003年以降、3回にわたって提出されたが廃案になった。
心の中で思っていたことが処罰される恐れがある」という国民の不安が但「広がったから。安倍政権は、テロ等準備罪に名を代えて通常国会に出す方針だ。20年の東京五輪・パラリンピックがあるから」とテロ対策を前面に出して、何

共謀罪
それはあかん

共謀罪とは
は実際に行
動しなくて
も犯罪の計

されてしまう危ないものだ。

2003年以降、3回にわたって提出されたが廃案になった。

心の中で思っていたことが処罰される恐れがある」という国民の不安が侶「広がったから。安倍政権は、テロ等準備罪に名を代えて

通常国会に出す方針だ。20年の東京五輪・パラリンピックがあるからとテロ対策を前面に出して、何

としても成立させようとしている。政府は今回の法案で、対象をこれまでの「団体」から「組織的犯罪集団」に変更した。菅官房長も「一般の方々を対象になることはあり得ない」と述べてた。

暴力団やテロ組織、薬物密売組織などを対象にしているので安心してください」といううののだが定義があいまいで、組織手く犯罪集団かどうかの判断するのは、警察などの捜査機関だ。

この欄は、亡きジャーナリスト、黒田清さんの創刊された「新聞うずみ火」誌から要約借用致しました。

この欄は、亡きジャーナリスト、黒田清さんの創刊された「新聞うずみ火」誌から要約借用致しました。

お詫び
この二月号は、ご投稿くださった方々から早々に頂戴しながら、私の作成が手間取り、お届が随分遅れました。お許しください！、自分では「若い？」心算で居り、嫌な言葉ですが、今月で「満83歳」で歳には勝てないのかなあとも思っています。

次号から、自信過剰を厳に戒めて、少し早くから作成に取り掛かります。

今号の遅れ、平にお許し下さい。

・ 2014年2月4日

▼人様が余り経験されない事や、今は、ボランティアと言われる事もしました。和歌山や、井手町にも住み込んで、ボチボチ「んからりん」にも書きます。

第3日曜日開催日1月15日(定例:朝9時)
第143回:朝粥食べておシャベリ会
講演:平田進也様(報告者) 高木英智様



て、に、平田さんが京都の本を出版。そんな
きに、と、昨年35回京都を回って、
して、過ご、お客さんの身になって書か
して、ほし、れた本がまもなく発売。
い。持っ、テレビに、ラジオに、現役
て死ねる、の添乗員として大車輪の活
のは、ええ、躍の秘訣を伺いました。
思、い、出、だ、
写真

本日の講師は
日本旅行の平田進也さん。
テーマは・添乗員一筋37年
日本旅行カリスマ添乗員と
呼ばれる平田進也さん。朝
粥の会について登場。添乗
員一筋37年、平田さんの企
画するツアーに熱烈なファ
ンが殺到する秘訣や理由を
熱弁いただきました。
やってきたことは人を喜
ばすこと。儲けようと思っ
たらアカン、まず、喜んで
もらうこと。下心があった
らアカン。お客さんのこと
を考えて一生懸命やったら、
もてなされるプロ。であ
るお客様が理解して、応援
してくれる。人生一回しか
ない、あつという間の人生

けで、お金を使わずに死ん
だらアカン。自分の世界に
引きこもるのはダメ、SN
Sがいくら流行っても大切
なのは心の通わしあいだ。
やらされる仕事はおもしろ
くない。今日一日の過ごし
方を×か◎かと記録するよ
うなつて20年ほど。最初
の年は◎が46個しかつか
なかったが、去年は286
個になった。人生は自分し
か値打ちがつけられない
たとえ他人から幸せだねと
言われても自分がそう感じ
ないと意味がない。今は長
生きの時代、人生200年
と思おう、まだヒヨコだ、
そう思つて生きよう。元氣
の源は笑うことだと朝から

どんつき

▽子供の頃から祖母に

意地な子」やとよく叱られました。祖母の命令より友達との約束を優先したからでしょう。

▼俗に「三つ児の魂百まで」と言われますが、今はまだ83才。もう17年は治らないでしょう。色々な方々に、それで迷惑をお掛けしますが、ご勘弁を！・

うが大丈夫です。毎朝5時までに起き、全身乾布摩擦、後、体操30分。腕立て伏せ百回以上して、身体は柔らかい。

▼店には七時までに入ります。年中無休の「アミミ」のオーナーです。ですから、辛い夜勤者に「苦労さん」声を掛けろ為です。そして、直ぐ決めた仕事に。▽資本家ですが、搾取者にはなり切れないです。若いとき「男国の労働者団結せよ」と叫んでいたからです。その頃の経験と勉強が、とんからりん「作成に役立っています」。

1940年
昭和15)4
月、祖母に
連れられて

京都市立貞教尋常小学校に入学した。雨の日だった。六年生の女生徒が

死んでいても云、切開手術をして下さい——と医師に強引にお願ひしたとの事。その時、祖父は、丹桂冠※さんの招待で、富士五湖へ行つて留守中で、祖母は、留守中の私を死なせた



傘箱の場所を教えて下さった。おばあちゃん、下堀町のオオルヤさんのお嬢さんや「だ」と言っておおきに「とお礼を言ってた。早生まれはは組、則武先生の組だった。昨年に亡くなった75年間親友だった林君と同じ組。国語はサイタ、サイタ、サクラガサイタ」で始まった。翌年から尋常でなく大東亜戦争が始まり、国民学校になつた。学帽も戦闘帽に代わつた。入学直後、私は、法定伝染病、ジフテリアに被病、府立病院に緊急入院した。伝染病なので通常なら救急車だが近所の円タク運転手の方が、我が家前に

死んでいても王、切開手術をして下さい」と医師に強引にお願したとの事。その時、祖父は、丹桂冠※さん（招待で、富士五湖へ行つて留守中で、祖母は、留守中の私を死なせたら、
「王ライコツチャ」と氣をもんでいたのだから。話だが、病院へ連れて行つたが、この子はもう死んでいる。手術は出来ないと医師が仰つた。だが、祖母は何とでも手術だけはしてと強引にとお願いしたこと。20日程で全快した。以後も虚弱な体質は変わらず、体操の時間は、参加せず教室で本を読み過して、当時の学校給食も「虚弱児」は、組教室がなく、別の部屋で、別の食事を与えられ食べた。
5年制後半から、給食は、飯に「豆粕」が入り、事業中、おなごの音が彼方此方でした。この文は訓育分の前に書くべきだったがお許しを。




 駐車中、即それで病院へ行つた。祖母に抱かれ、近所の「Kおばさん」と「緒の車」で。私は、途中河原町通りの枳殻邸を見た後、意識を失た。目覚めたのは、術後の搬送ベツト。チツ氣が付いたか！と叫ぶ。祖母の嬉しそうな顔が見えた。**おはあちゃん！**と大声で叫んだか。声が出ない。喉を切開したさかい、暫くは声が出やへん。鉛筆で書くのや」と言われた。悲しくなつて、出ない声で泣いた。後に、近所の「Kおばさん」から、聞いた話だが、祖母は、

※その意味で、私「命の恩人」と思い、ファミマ内に「月桂冠」さんの看板を今も掲げてある。

何となく今年は良いことある如し
元日の朝晴れて風なし

啄木は歌つたが、しかし、その後の寒波は、どうだろう。寒、大寒と、めげそんな寒さきである。何となく、しかし、はこんなだつたかも、とひじく、寒い思いに堪えて遊んでいた昔々を引き寄せる。年賀状を初めて意識したのは、サギ歳だつたと覺えているか、中二になろうとする、新年つたか。その先輩から来た！ 状には A HAPPY NEW YEAR! あつたので、たまげてしまつた。中一から習ひ始めた英語を、規を使つてきれいに製図して、特別な賀状と思へた。それから半世紀余の歳月を括りにはできないが、大切に「挨拶」として、心を込めてたし、我が家の歩みもそこか伺えるとの自負もあつた。そ

の間に葉書の値段も円から、今や二倍以上。噂によれば、来年はさらにあがるんだとか？大変だ。家計からその費用を捻出すること自体が。数万円も！もうよそうか、とも思う。普段からやり取りのある人に、殊更めく挨拶、生きてまっせ」と言い合うだけなら、もう、いいか。そう思えたのは、今年が喪中だったからか。

かねてから、単なる喪中欠礼の薄墨色の型通りの葉書が来ると寂しくなる。ゆえに、年内は沈黙し、年頭のご挨拶は拒まず、やがてお詫びがてらの寒中見舞で、ご挨拶致そうと思ってきた。不特定多数を、パソコンに打ち込む作業より、毛筆で俳句共々したためることこそ賀状に相応しいと考えて来たのである。

むろん、東京の夫はその父の死を別な形で至ってクールにお知らせ済みだった。住む世界を異にしている私はその相談も出来かね、事実だけのお知らせは余

りに味気ない、感謝の思いを込め、最初で最後の恋文のように綴った。パソコンでちゃっつちゃつとやれば済むところだったが、済ますという事務でなく、併せて十年分ほどの我が家の消息を、端的に記した其の文をあとで褒めてくれる人もいて、ようやく寒中の一大事にめどがつきそう

だ。

そんな、正月だったので、思い切って文書類の整理もと励んだ。往生したのは写真の多さだった。年末に遇った友人は、喪中の今こそ「遺影も葬も決めた」といつていた。私も、と勇み立ったが、年来の賀状一枚、写真一葉の行方にも迷い、困った。夫は何故かちっとも困っている様子もなく、検番のように私を叱咤、激励し、寝正月、食積、孫たちへのお年玉、もてなしに上機嫌だった。

そして、又云うのだった。一日でも僕より早く逝ってくれ。君よりずっとうまく、始末をつける自信があるから、と。

伏見稻荷大社の今年の初午はつ

す。

す。

の葉を勝手に持ち帰ることは禁じら

して食べる風習があります。

うま 大祭は2月12日(日)です。当日、午前8時から神事が行われます。社伝によると711年(和銅4年)に伊侶巨秦公(このたのきみ)が勅命を受けて、稲荷山の三つの峰の平らかな場所に稲荷大神を祀ったことが起源と言われています。

初午大祭の2日前からこの神木の杉と椎のいの枝で作った青山飾りが本殿などに飾られます。参拝者には商売繁盛・家内安全の利益があると言われる縁起物の「しろしの杉」が授与されます。これを自宅に持ち帰り、根が付けば吉、根が付かねば凶と言われています。

れています。初午といへば一年でもっとも寒い時期ですが、昔は旧暦ですから、もう少し春めいたころ（2月下旬から3月中旬）が初午で、まさに春を告げる祭りでした。立春を迎える最初の午の日は一年のうちで最も運氣の高まる日とされています。午（うま）は方位の南を示し、時間は正午を表

秦氏にちなんで「秦家」はたけ菜で祝うという言い伝えもあるようですが、真偽のほどはわかりません。

我が家の菜園にも十月初旬に蒔いたはたけ菜が順調に育っています。

青物の少ない時期ですが、栄養子も高くおいしくいただいています。

季節の節目のちよとした生活の風



伏見稻荷大社の創立記念日です。 実際にはもっと前から

ききらぎやけふ初午のしるしとて稲
荷の杉はもつ葉もなし 光俊朝臣
という歌があります。初午に参拝し

し、この時間は太陽が最も高く上がり、1日のうちで陽光が最も強まる時を言われています。人間が大自然と

何んた坂 こんな坂②



明日九州へ移動して「特攻隊員」になつて、敵艦突つ込む人たちだと言つた。明るく爽やかな感じのしたお兄さん達だったので驚いた。「父はこの飛行場で見たことは絶対に人に言うな！」と言つた。

もう70経たぬ書い

当時も店は酒屋だったのが『酒塩醬油は配給も途絶えがち、隣で開いていた「国民酒場」も隔日しか売酒が極僅かしかなく、はやくから行列が出来た。昭20年1月16日「馬町空襲」があり、児童疎開、五条通りの建物壊す疎開が急速に進んだ。祖父喜一郎は20年6月から徴用で炭坑へ行き、肺の病気になる帰京し、敗戦直後亡くなった。多分塵肺でだと思つた。非常に、生活の辛い、命の危険も有った時代だったが、人々は明るく、助け合つて生きていた。豊かとは何ぞやと考える時、今思ふが・・・

永久雪地 えいきゅうせいち 月三天

雪が降る。地道に降る。積もつて積もつて、全てが白くなる。アクリルガッシュで白を塗ると、こんな感じだ。しかし、白の下に何か色が付けられていたなら、白は完全な砂漠の雪景色なつてくれない。雪は、元あつた色を奪つてゆく。地道に



写真 父の幼少時代の写真 中野の方々

オオキニ 額 額 史子 Fumiko Koukoku

京都には「ありがとう」を意味する言葉として「おおきに」という表現があります。室町時代以降使われるようになったというこの言葉が、京都から1,000キロも離れた東北の地でも、日常的に使われていることはご存知でしょうか。

2011年の東日本大震災で、大津波に襲われ壊滅的な被害を受けた岩手県宮古市。震災からの復興も軌道にのり、すべての仮設住宅がようやく廃止された矢先の昨年夏、台風2号の襲来で町のほとんどが大浸水被害を受け、再び被災地になりました。この町こそ、おおきに「がその土地の言葉として、日常的に使われている場所なので

現在の宮古市は、江戸時代から港町として栄えた場所。京都へ献上物を輸送する船が、盛んに行き来していたという歴史があります。往来する船とともに、都



京都出身のミュージシャンであるフラーパッド(写真)が、三陸の宮古を始めて訪れたのは震災から2年たった2013年。当時の仮設住宅にお住まいだったご年配の女性たちが、京都からやってきた若い男性を前に目をキラキラ輝かせ、

の文化が宮古に運ばれ、おおきに「の言葉のように、北の地に浸透していったものが数多くあるようです。宮古市という地名も、時の朝廷から京都と同じ「みやこ」という地名を名乗って良いとされ、京都への敬意から漢字をかえて「宮古」と名付けた、という言い伝えも残っているほど、三陸宮古と京都には、どうやら歴史的因果があるようです。

に、着実に。白一色で埋めてからも、どんな、どんな、全てを無かったこととしてゆく。見なかったことにしてゆく。居なかつたことにしてゆく。雪の下には昔の地球がそのまま埋まっているという。人間も、動物も、建物も、乗り物も、全て。まさか掘り返すことはせず、そのままそつと、とどめている。生き残ったのは、元々永久雪地に暮らしていた者たちのみだ。世界が一日で十五メートル埋まった伝説の時代、奇跡的に一つだけ油田が残る、その燃料を少しづつ

使つて生活をしている。土は、地が閉ざされる前に持ち上げた。建物の中に庭があり、水が流れ、火がある。建物も、年に一度移動させる。雪が多い年は、半年に一度移動させる。じやないかと埋まってしまうから。生き残った人々はある。雪原ではなく、草原を見たい。へ作者の一言 一月に京都で雪が積もり、前年には砂漠で雪が降り、いつか地球はこうなるのだろかなあと、降る雪を見ながら思いました。気象面でも一年後が分からない現代、暑さ寒さ対策を怠らないようにしなければ。不

編集後記

▽2月号はB.Cのトランプも有つて、作成に随分手間取りました。1月に配布できず申し訳ありません。▽その上、昨年当社初代社長で有った、康ハッちゃん(と栄さん)という、70年以上の大親友を相繼いで亡くしました。▽特に康ちゃん(と栄さん)は、商売でも色々な事を共同で、体型も顔も似て、考え方も似ていて面白い仕事が出来ました。▽去年の正月は生きていたのに、作成中ふと思ひ出し進まないでも再々有りましたが、次号から吹っ切ろうと決めました。▽そんな事情で、今号は校正をお願いしているお方に点検して戴く時間が無いまま、お届けいたしました。お許しください。▼申し訳ありませんが配布後の校正で、誤り部分があれば、来月号でお知らせいたします。甘えませんがご了承をお願いします。▼編集者は、視力両眼共1.5です。時間や光線の関係で見えにくい時以外、老眼鏡は使いません。多分有る事を続けた成果です。▼それは、自己流の目の玉体操です。風呂で上がる前「ヤワー」を強く瞑つた目を動かしながら、両眼交互に目に当たります。▽お金も時間も極僅かしか入りません。お試しを！の